

『大日本史』本紀の『日本書紀』研究

堀井純二著

定価：本体19,500円(税別)

平成30年1月発行

A5判・上製・函入・984頁

『大日本史』本紀が『日本書紀』の各天皇紀を如何に記述しているかを詳細に検討

『大日本史』本紀を検討するに、いづれの「本紀」も、『日本書紀』に基づき適切に要約した記述が多く、妥当な記述と見られる。しかし「本紀」は盲目的に『日本書紀』に従うのでは無く、他に検討する史料が存する場合は、それを活用して、記述するという科学的実証の労を惜しまない。その場合に於いても独断による結論を記すことなく、後世の判断に委ねるといふ姿勢が多く見られる。時には誤解から来る記述や、今日からすれば過ちと考えられる記述も散見される。それらは史学研究の初期、出発時である江戸時代前期の学問到達度からすれば止むを得ないことであった。「本紀」は当時の学問水準からして最高の水準を維持した研究であり、今日からみても妥当な正しい判断をし、記述をしている場合が多い。今日の研究に於いて、『大日本史』は過去のものとして顧みられることが少ないが、『日本書紀』の研究に際しては、改めて『大日本史』を見直す必要がある。



著者略歴

堀井 純二 (ほりい じゅんじ)
昭和23年2月 奈良県橿原市に生まれる
昭和45年3月 皇學館大学文学部国史学科卒業
昭和47年3月 皇學館大学大学院文学研究科修士課程修了(国史学専攻)
昭和46年9月より報徳学園高校勤務
平成8年4月より日本文化大學勤務、現在教授

目次抄

第一部 研究篇

- 第一章 神武天皇本紀
- 第二章 綏靖天皇本紀より開化天皇本紀
- 第三章 崇神天皇本紀
- 第四章 垂仁天皇本紀
- 第五章 景行・成務天皇本紀
- 第六章 仲哀・応神天皇本紀
- 第七章 仁徳天皇本紀
- 第八章 履中・反正・允恭天皇本紀
- 第九章 安康・雄略天皇本紀
- 第十章 清寧天皇本紀以下武烈天皇本紀
- 第十一章 継体・安閑・宣化天皇本紀
- 第十二章 欽明天皇本紀
- 第十三章 敏達・用明・崇峻天皇本紀
- 第十四章 推古天皇本紀
- 第十五章 舒明・皇極天皇本紀
- 第十六章 孝徳天皇本紀
- 第十七章 齊明天皇本紀
- 第十八章 天智天皇本紀
- 第十九章 天皇大友本紀
- 第二十章 天武天皇本紀
- 第二十一章 天武天皇本紀と「天日本史」
- 第二十二章 持統天皇本紀の比較

あとがき
初出一覧
索引

第二部 資料篇

- 附論一 水戸学に於ける神武天皇敬仰とその影響
- 附論二 神功皇后・飯豊青皇女即位考
- 附論三 孝徳天皇朝の宮都を検討し日本紀の天皇評に及ぶ

[ご注文・お問い合わせ]

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 URL <https://kinseisha.jp/>
電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

注文書	書店様番線	注文数	『大日本史』本紀の『日本書紀』研究	堀井純二著
			冊	定価：本体19,500円(税別) (ISBN978-4-7646-0134-5)
		お名前		
		〒 ご住所		
			お電話	